

令和3年2月吉日

会員各位

公益社団法人 日本文化財保護協会
会 長 坂 詰 秀 一
理 事 長 長 谷 川 渉
技術研修委員長 河 合 英 夫

第9回 優秀調査報告書の募集について

当協会では、会員会社の日々の考古学上の調査成果である発掘調査報告書について、選考基準に基づき優秀な調査報告書を顕彰する表彰制度を設けています。

新型コロナウイルスの感染拡大は収束の兆しが見えず、影響を受けている会員会社も少なくありません。コロナ禍で、ご苦勞されているとは存じますが、今年も第9回の優秀調査報告書を下記のとおり募集することといたします。

最優秀調査報告書・優秀報告書の選定は、公正を期するため外部の有識者(選考委員)に審査を依頼して行います。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 応募の対象となる調査報告書

令和2年1月から令和2年12月までの間に会員会社が主体となって作成したもので、考古学に関連した分野を対象とします。また、支援調査であっても依頼者の快諾が得られれば応募可能とし1社1冊とします。ただし、概要報告書や試掘調査報告書は対象となりません。

2. 応募の方法

調査報告書1冊と、会員会社の推薦理由書(形式自由。500字以内)を添えて、令和3年3月19日(金)必着で協会事務局までお送り下さい。

3. 選考基準

優秀調査報告書の選考は次の評価基準に基づき行い、採点は評価①～③を各100点満点とし、250点以上を優秀調査報告書、270点以上を最優秀調査報告書として表彰し、それぞれ複数冊可とします。

なお、評価④の自然科学分析は15点を限度として加点するものとします。

評価①：本文記述(章立て、活字、割り付け、適切な記述、まとめ)

評価②：実測図(図法、線描、割り付け、適切な縮尺、キャプション)

評価③：写真図版(鮮明度、割り付け、適切な縮尺、キャプション)

評価④：自然科学分析は報告書の内容によって評価する。

4. 表彰

最優秀調査報告書及び優秀調査報告書には賞状と金一封を添え、令和3年5月12日(水)開催予定の定時社員総会において表彰いたします。

以上